

## プログラム4 DX推進 産業スマート化プログラム

### DX推進による生産性向上、革新的実装モデルの創出・普及

- ⑨ 新たな実装推進体制「とっとりDXラボ」の構築
- ⑩ 「ものづくり」「物流」「サービス」「農林水産業」のデジタル化推進による、県内産業のサプライチェーン強靱化、革新的実装モデルの創出・普及
- ⑪ 県内DX関連技術の強力な地産地消
- ⑫ 産学官・支援機関連携による体系的DX人材育成(とっとりDX人材育成)

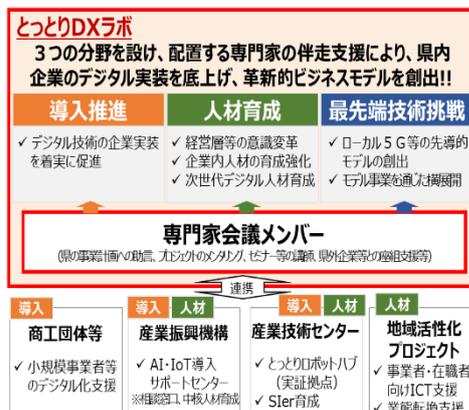
#### 【主要数値指標(KPI)】

DX対応転換企業	300社(R3~5)
とっとりDX人材育成に取り組む企業	100社(R3~5)
労働生産性(一人あたり県内総生産)	700万円(R6)

コロナ禍にあって、デジタル技術の社会実装速度は、さらに加速度を高めています。本県においても平成29年、産学官連携による先端技術導入プラットフォーム「とっとりIoT推進ラボ」を創設するとともに、産業振興機構によるスマートものづくり推進、産業技術センターによるロボット実装ハブ整備など支援体制を強化しながら、デジタル技術の企業内実装に向け、取組を進めてきたところです。

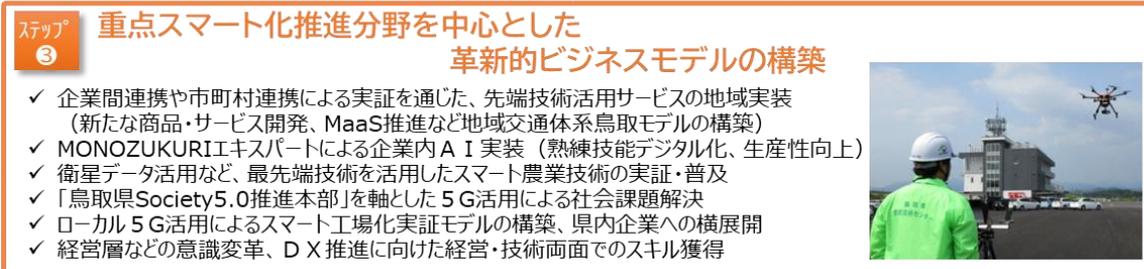
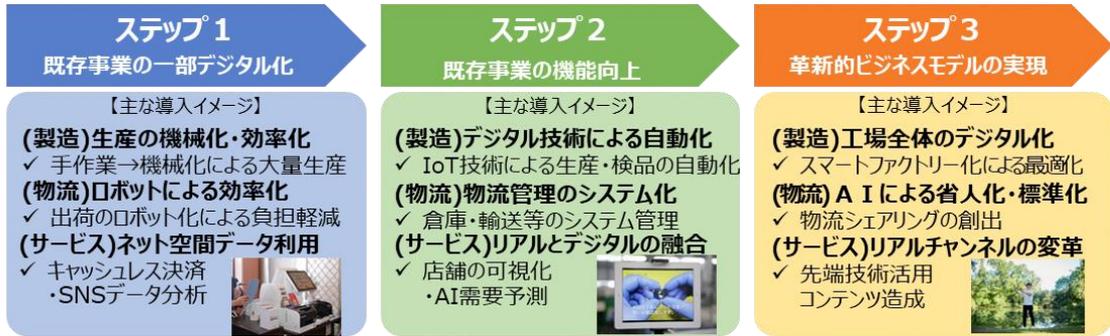
このような中、ICT技術の生産・オフィス活動への導入に留まらず、データとデジタル技術を活用しながら、製品・サービス、ビジネスモデルや組織・業務プロセスを変革していくDX(Digital-Transformation)推進への意識が国内外において急速に高まっています。また、国内外における競争環境の激化や人手不足など、先行き不透明なビジネス環境にあって、県内事業者が競争力を維持・強化し、将来に亘って持続的な発展を遂げていくには、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの構築や柔軟な改変、いわゆる“DX”推進が、今や企業規模や業種を問わず、不可欠な状況にあります。

事業活動の生産性向上と付加価値創造を図るため、産学官・支援機関連携による新たな実装推進体制「とっとりDXラボ」を構築した上で、「ものづくり」「物流」「サービス」「農林水産業」などの分野を重点スマート化推進分野に位置づけながら、県内産業のサプライチェーン強靱化を図るとともに、小規模事業者を含め段階に応じたDX推進に取り組みます。その際、県内企業が有する技術を最大限活用するなど、県内DX関連技術の強力な地産地消を推進します。

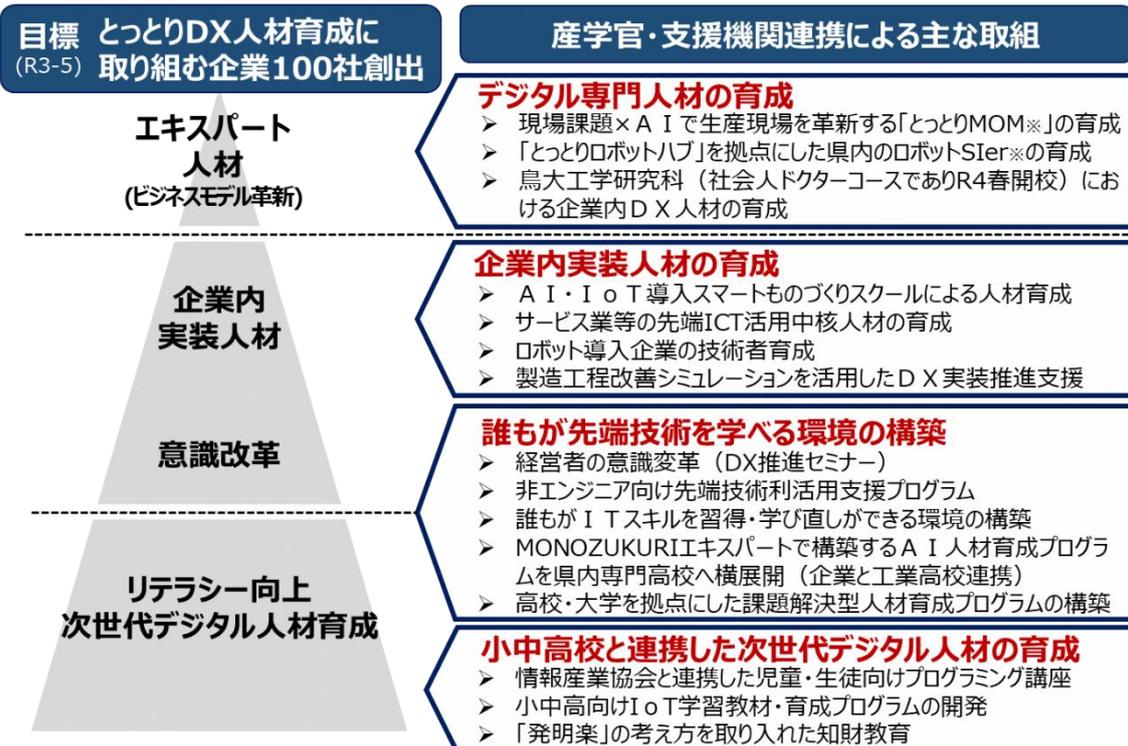


また、効果的な企業内DX推進に向け、経営層の意識変革を促すとともに、AI・ロボティクス・5Gなど先端デジタル技術を活用した社会課題解決、企業内専門人材育成の取組を強化します。さらに、県内教育機関と企業連携により、ICTリテラシー向上につながる人材育成プログラムを構築するほか、誰もが自発的にICTスキルを学ぶことができる環境づくりなど取り組みながら、次世代DX人材育成を推進します。

## D X推進ステップ（企業規模や業種に応じたステージ毎の支援）



## 産学官・支援機関連携による「とっとりDX人材」育成体系



※とっとりMOM…「とっとりMaster Of MONOZUKURI」。ものづくり現場の高度な技術・技能・知識とAIの知識・スキルを併せ持つ高度実践人材  
 ※ロボットSier…「ロボットシステムインテグレーター」。ロボットを使用した機械システムの導入提案や設計、組立などを行う事業者

## プログラム5 重層的産業発展プログラム

### 県内産業を牽引する中核的牽引企業の成長促進、小規模事業者の持続的発展

- ① 技術・サービス革新や企業規模拡大など「中核的牽引企業」の成長促進
- ② 生産性向上や経営革新など「小規模事業者」の事業継続・発展
- ③ ESG経営や働き方改革の推進など県内企業の価値向上

#### 【主要数値指標(KPI)】

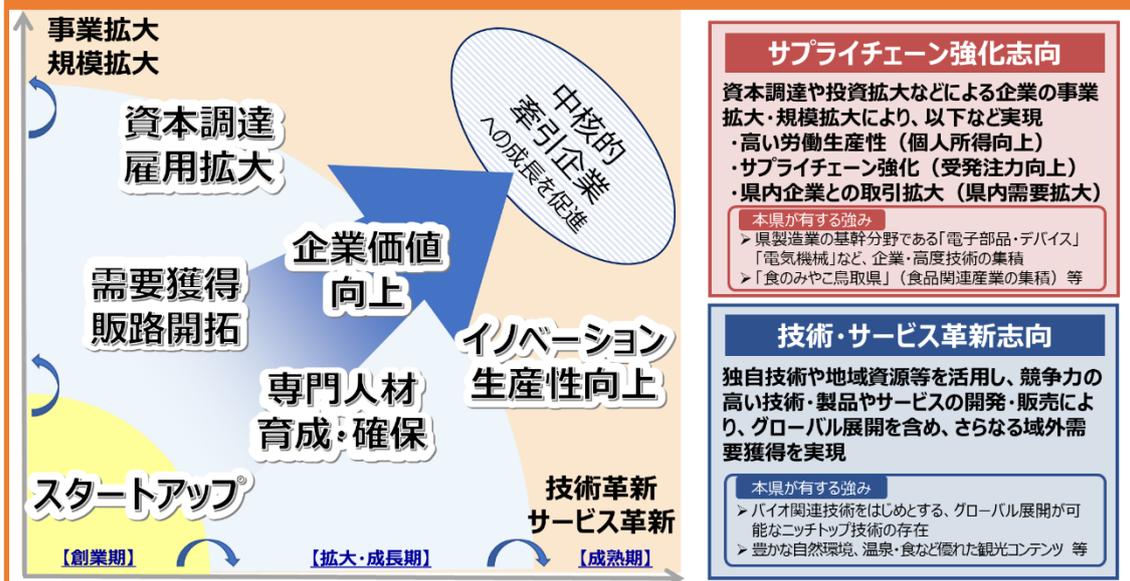
産業成長事業の認定数	500件(R3~5)
ESG経営取組企業	50社(R3~5)
地域の創業件数	750件(R3~5)

本県では、「地域未来牽引企業（経済産業省選定）」をはじめとした中核的企業の成長が、独自技術や製品開発等による販路開拓・販路拡大を通じ、域外需要獲得や付加価値創出、及び域内関連企業への波及効果を含めて県内産業を牽引してきました。また、全体事業所数の8割を超える小規模事業者の存在も地域における生活基盤としての一翼を担うほか、地域雇用の維持・創出の観点からも重要な役割を担っています。

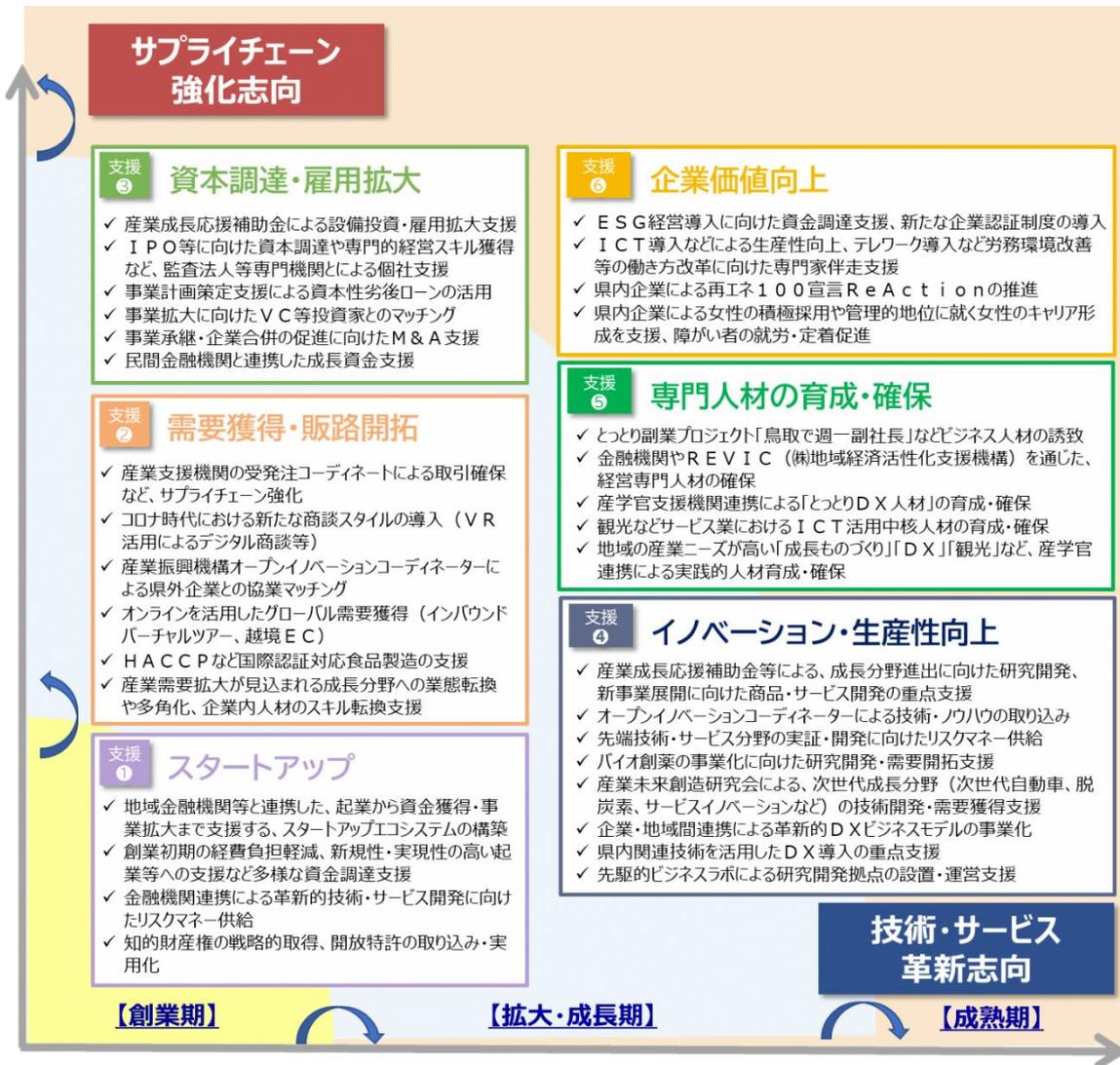
Society 5.0の進展、人口減少・後継者不足、グローバル経済の一層の加速に加え、今般の新型コロナウイルス感染症の影響拡大など、社会経済環境の変化が激しく先行きへの不透明感が増す中において、地域経済を牽引する中核的企業の一層の増加・成長とともに、地域経済を支える小規模事業者の支援を強化し、県内産業の重層的発展を図っていくことが、県内経済・産業の持続的発展を実現する観点から不可欠です。

このため、需要獲得力や雇用吸収力を備えた成長性が高い企業を中核的牽引企業と位置づけ、「スタートアップ」「規模拡大」「革新的技術・サービス開発」など企業ステージに応じた支援を展開します。併せて、小規模事業者の経営持続性確保・発展に向け、デジタル化による生産性向上、地域資源活用による経営革新などを促進するとともに、商工団体・金融機関等と連携し、事業承継を含めた事業継続対策を強化します。加えて、今後の資本調達や取引維持・拡大、働く人から選ばれる企業への転換・成長に向け、ESG（環境・社会・企業統治）経営や働き方改革を促進しながら、県内企業の価値向上を図ります。

#### 中核的牽引企業の成長ステージ・成長の視点



## 中核的牽引企業の成長ステージ・支援の方向性



## 小規模事業者の事業継続・持続的発展を支援



### 経営支援体制の強化

### とっとり企業支援ネットワーク



## プログラム6 人財 スキルアップ・確保プログラム

### 成長分野の人材育成・確保と事業転換、多様な働き方の促進

- ① 成長分野への事業転換を促す、企業内人材のスキルアップ・確保
- ② 産学官連携による、地域産業ニーズが高い「成長ものづくり」「DX」「観光」人材の育成・確保
- ③ 女性、若者、障がい者など多様な人材の多様な働き方を実現

#### 【主要数値指標(KPI)】

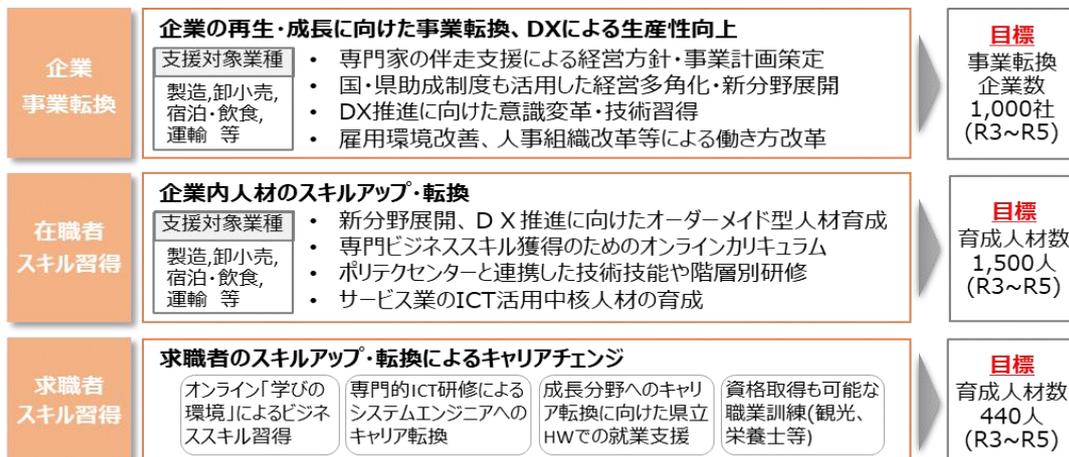
企業内人材のスキルアップ・転換	1,500人(R3~5)
産学官連携による専門人材育成プロジェクト	15件(R3~5)

本県はこれまで、地域産業に求められる産業人材の育成・確保に向け、令和2年3月に「地域における今後の職業教育機関の在り方」をとりまとめた上で、地域の産業ニーズが高い分野における実践的人材育成を推進しています。また、ポリテクセンターとの連携強化や職業大の一部機能移転を契機とした自動車・医療機器・航空機分野の人材育成プログラム開発、サービス業の生産性向上、働き方改革による多様な人材の活躍に向けた取組など、併せて推進しているところです。

一方で、今般のコロナ禍から産業・雇用の再生を早期実現するには、企業再生に向けた事業転換の促進に加え、今後の産業構造転換を見据えた、在職者・求職者それぞれのスキル習得・スキル転換を進めていくことが急務の課題です。また、全国的に進展する少子高齢化により、中長期的に人手不足が進行していくことが見込まれる中、DX推進等による生産性向上や多様な人材の活躍をより一層盛り立てていくことが、重要となっています。

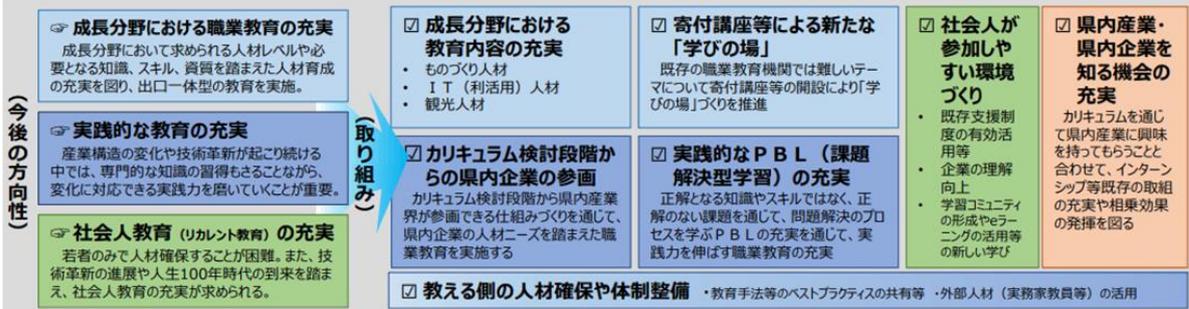
コロナ禍によって経営・雇用面での影響を大きく受けた業種を対象に、成長分野へのスキルアップ・転換を促す人材育成・確保や経営多角化・新分野展開を促進します。また、地域における今後の職業教育機関の在り方とりまとめを踏まえ、職業大や高等学術機関などとの連携を強化し、「成長ものづくり」「DX」「観光」など地域の産業ニーズの高い分野における人材育成・確保を加速するとともに、専門高校など県内高校・企業連携による人材育成・県内定着を図ります。さらに、就業形態や働くスタイルが多様化する中、起業家ネットワーク構築や学びの空間づくりなど推進しながら、女性や若者、障がい者など多様な人材による多様な働き方を促進します。

### 地域活性化雇用創造プロジェクトによる企業・人材の成長シフト

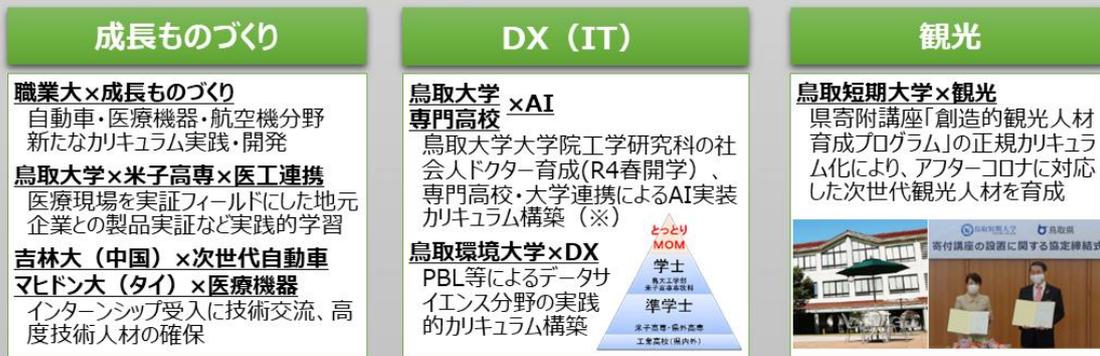


## 産学官連携 成長分野における実践的人材の育成・確保

### 地域の産業人材育成・確保に向けた職業教育機関の在り方と今後の取り組み



### 地域の産業人材ニーズが高い主な成長分野



(※)MONOZUKURIEキースパート

現場の技術・技能とAI活用スキルを併せ持つ高度実践人材を育成する産学官による教育訓練体系であり、企業内実証モデルを踏まえ、専門高校～大学～大学院接続を視野に入れた、実践的カリキュラム構築を目指す取組(R3～5)。

## 多様な人材の多様な働き方を実現

